



TOHOKU  
UNIVERSITY

2024

東北大学大学院教育学研究科  
Graduate School of Education/Faculty of Education

東北大学教育学部

世界をつなぐ学びがある



幅広い方法でアプローチしていく。  
広大な拡がりをもつ教育という営みに



# 野口 和人

NOGUCHI KAZUHITO

東北大学

大学院教育学研究科長・教育学部長

教育という営みは、学校のとどまらず、空間的にも時間的にも広大な拡がりをもっています。一人のヒトが生まれて以降、その生涯を通じて、様々な形で教育という営みに関わります。また、そのような営みは、歴史的に連続と続けられてきており、現在も世界の各地でそれぞれの形をもって行われています。

一方で、このような営みが滞る場合もあります。世界的に見れば、十分な教育を受けることができない子どもたち、教育という営みに参加できない人たちが多数存在しています。また、日本国内においても、様々な事由により、この営みに十分に参加できない、関わっていくことができない子どもたち、人たちが存在しています。このような状況は、何としても変えていかなくてはなりません。

また、大学という場は、次の社会を担う人材を育てていく場でもあります。ゆえに、大学という学びの場自体の在り方についても常に問うていく必要があります。

私たちは、これらの課題を含め、広く教育について、哲学的、歴史的、制度的なアプローチや心理学的アプローチ、さらには、これらを基盤としてAIやロボティクス、ビッグデータ処理などを交えた文理融合的なアプローチなど、様々な方法でアプローチしています。



WEB サイトで  
学部長挨拶を見る



## 目次 CONTENTS

### 数字で見る東北教育

- 03 大学について  
学部について

### 東北大学教育学部・ 大学院教育学研究科に決めた理由

- 04 東北大学教育学部・  
大学院教育学研究科に決めた理由

### 教育学研究科の紹介

- 05 生涯教育科学コース  
教育政策科学コース  
グローバル共生教育論コース
- 06 教育情報アセスメントコース  
教育心理学コース  
臨床心理学コース

### 教育学部の特徴と学習の流れ

- 07 教育学コース  
教育心理学コース

### 学生インタビュー

- 08 学生インタビュー

### 施設紹介

- 10 施設紹介

### データで見る教育学部・教育学研究科

- 11 教育学部・教育学研究科の在学者数  
教育学部・教育学研究科でとれる資格・受験資格  
学部卒業生・大学院(修士/博士)修了生の進路

### 取り組み

- 12 心理支援センター  
臨床心理相談室  
発達・学習心理相談室  
災害心理支援室  
遠隔支援チーム
- 13 先端教育研究実践センター  
国際シンポジウム・提携校  
AEL COURSE

### 学生支援制度

- 14 各種奨学金制度  
TA・RA制度  
日本学術振興会特別研究員制度  
博士研究員制度  
東北大学学際高等研究教育院制度  
長期履修制度

### 論文・研究紹介

- 15 論文・研究紹介

### 東北大学教育学部Q&A

- 16 東北大学教育学部Q&A



## 大学について

About TOHOKU University

### THE日本大学ランキング

第**1**位

※「Times Higher Education (THEイギリスの高等教育専門誌)」によるTHE日本大学ランキング2023

### 敷地面積

約**2,200**万㎡

※「東北大学概要」掲載データ(R4.7.1現在で所有:21,904,883㎡)

### 設立年

(東北帝国大学創立)

**1907**年

### 附属図書館蔵書数

本館(教育学部と同じキャンパス)の蔵書数

図書 **2,870,386**冊

雑誌 **45,000**種類

※「東北大学概要」掲載データ(R4.3.31現在)

## 学部について

About Graduate School of Education

### 教育学部設置

**1949**年

教育学学科、学校教育学科、  
特殊教育学科、2年制教員養成課程

### 学術交流協定 締結校

**19**校

### 学生数

**308**名

R5.5.1現在の学部生総数

男女比 **45:55**

### 1学年学生数

**73**名

R5年度学部入学者数

男女比 **42:58**

### 教員数

**41**名

R5年度

教員と学生の比率 **7.51**

『先輩が教える  
東北大学教育学部・大学院教育学研究科のここが良い!』

2023年東北大学教育学部・大学院教育学研究科学生対象のアンケート結果より集計

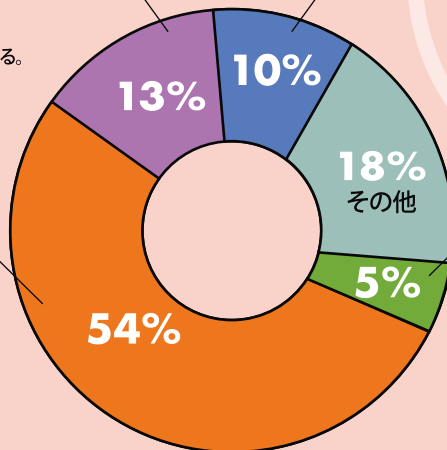
入試方式・難易度

が合っていた

- 教員養成に特化しているわけではなく、公務員や民間就職、公認心理師の資格取得のための大学院進学などさまざまな進路が考えられる。
- 教員を育てるというよりも教育そのものを学習・研究することに重きを置いている。

教育内容が良い

- 教育に関するあらゆる分野について広く学ぶことができる。
- コース全体として研究に関する指導が手厚い。
- 公認心理師の資格取得を目指すことができる。



研究環境が整っている

- 研究したい分野をリードする先生が在籍している。
- 研究第一主義のもと、制度面、金銭面で様々な支援制度が設けられている。

知名度が高い

- 東北大学の建学の精神である「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」を推し進める姿勢、またそれらを支える一番基本的な要素である「教育」という立場から学問と向き合っていたためここを選んだ。

先輩の声01



近い目標をもつ  
仲間ができる!

教育学部 1年生

教員養成を目的としない学部として、教育行政、教育心理など、幅広く学べるところが魅力だと感じます。他学部における政治学、心理学とは微妙に異なり、教育という軸が共通しているので、近い目標をもつ仲間ができることを期待して志望しました。

先輩の声02

幅広く学んで、  
徐々にジャンルを  
絞っていきける

教育学部 2年生

もともと教育に興味はありましたが、教育という学問について調べていくうちにジャンルの広さに目を回していました。そんなとき、本学部においてはコース分けはあるものの、特定の授業しか受講できなくなるのではなく、幅広く学びつつ、深めていきたいことに焦点を絞ることができると知り、ここで学びたいと思いました。



先輩の声03

整った研究環境が  
大学院進学の手決め手!

教育学研究科 修士課程1年

東北大学教育学部に通っていたのですが、この整った研究環境で学習を続けたいと思い、大学院に進学しました。研究室の先生や雰囲気は自分に合っていると感じます。このまま公認心理師の資格取得を目指してがんばりたいです。







## 生涯教育科学コース

Sciences of Lifelong Education

人間の誕生から死にいたるまでのプロセスを研究する手法を学ぶ

持続可能で公正な社会の形成に資するため、生涯にわたる人間形成と教育のあり方について、原型的、巨視的、社会的な視点から深く理解し、知識基盤社会、生涯学習社会に必要な洞察力、企画力、実践力を有する人材を育成することを目的としています。具体的には、教育を「人間形成」のプロセスとして広くとらえ直し、学校という制度化された学びの場のプロセスだけでなく、人間の誕生から死にいたるまでのプロセスを、哲学、歴史、社会学、文化人類学の視点から研究する手法を学ぶことができます。

### Faculty Members

<b>甲斐 健人</b> 教授・スポーツ文化論	<b>八嶽 友広</b> 教授・人間形成史	<b>李 仁子</b> 准教授・人間形成論
<b>石井山 竜平</b> 准教授・社会教育学	<b>澤田 哲生</b> 准教授・人間形成論	<b>鷺谷 洋輔</b> 准教授・スポーツ文化論



## 教育政策科学コース

Education Policy and Social Analysis

政治・経済・社会が複雑に絡み合う課題の解決能力を育成

財政危機や少子高齢化とともに民族・文化の多様化が進む国々では、効率的な資源配分だけでなく異質かつ多様な人びとの公正な処遇という観点からも教育政策を考えていく必要があります。本コースでは、教育社会学、教育行政学及び比較教育学の学問領域を「教育政策科学」という共通の枠組みのもとに統合した教育プログラムを提供することで、上記のような政治・経済・社会が複雑に絡み合う課題の解決に求められる、幅広い視野からの課題発見能力、高度な分析能力及び批判的思考力をバランスよく備えた人材を育成していきます。

### Faculty Members

<b>青木 栄一</b> 教授・教育行政学	<b>島 一則</b> 教授・教育社会学	<b>福田 亘孝</b> 教授・教育社会学
<b>井本 佳宏</b> 准教授・比較教育学	<b>後藤 武俊</b> 准教授・教育行政学	



## グローバル共生教育論コース

Global Education

グローバル化する社会における  
新しい教育の実践と研究ができる人材を育成

グローバル化する世界における複合的で多様な課題に対応し、持続可能な社会を構築するための新しい教育のあり方への変容が求められています。本コースでは、学校教育、成人教育、国際教育開発、多文化教育という学際的な観点から、知識伝達型のこれまでの教育を問い直し、価値観の異なる人々と協働しつつ「正解のない」新たな状況に当事者意識を持ち対応できる教育や実践を探究します。本コースでの学びを通し、グローバル化する社会における教育の課題を、ローカルな現場にも立脚しながら重層的に把握し、多様性の尊重、公正、社会正義といった現代社会に求められている価値観や倫理観に基づき分析し、実際的な問題解決に貢献できる専門能力を有する研究者と実践者を育成します。

### Faculty Members

<b>谷口 和也</b> 准教授・学校教育論	<b>松本 大</b> 准教授・成人教育論	<b>劉 靖</b> 准教授・国際教育開発論	
<b>末松 和子</b> 教授・多文化教育論 (協力講座教員)	<b>高橋 美能</b> 准教授・多文化教育論 (協力講座教員)	<b>渡部 由紀</b> 准教授・多文化教育論 (協力講座教員)	<b>曹 蕾</b> 助教・国際教育開発論



# 教育情報アセスメントコース

Educational Informatics and Innovative Assessment

## 学びのイノベーションを視野に入れアセスメントの基礎を固める

現代の教育・学習環境のデザインにあたっては、すべての人びとに開かれた学習機会の提供という観点からInformation and Communication Technology (ICT) のより発展的かつ有効な導入が求められています。そこでは、ICTを駆使した教育プログラムの開発だけでなく、そのプロセスや効果の検証・アセスメントが重要になってきます。本コースでは、日本社会の成熟化、少子化、価値の多元化が進む知識基盤時代の教育にふさわしい、学びのイノベーションを視野に入れつつ、アセスメントの基礎を固め、客観的なデータ・根拠にもとづいて教育を測定し評価するために必要な専門的能力・スキル・知識を修得した人材を育成していきます。

### Faculty Members

**有本 昌弘**

教授・教育評価測定論

**熊井 正之**

教授・教育情報デザイン論

**小嶋 秀樹**

教授・教育情報デザイン論

**柴山 直**

教授・教育評価測定論

**熊谷 龍一**

准教授・教育評価測定論

**佐藤 克美**

准教授・教育情報デザイン論

**中島 平**

准教授・教育情報デザイン論

**松林 優一郎**

准教授・教育評価測定論

**伊藤 文人**

講師・教育情報デザイン論

**倉元 直樹**

教授・教育情報デザイン論  
(協力講座教員)

**宮本 友弘**

教授・教育情報デザイン論  
(協力講座教員)

**佐藤 智子**

准教授・教育評価測定論  
(協力講座教員)



# 教育心理学コース

Educational Psychology

## 教授・学習や人間発達のしくみとその支援ニーズを心理学的観点でとらえる

教育心理学における「教育」とは、広く、人と人がかかわる場面の問題としてとらえることができます。例えば、分数の掛け算につまずく小学生にどのように教えたらよいのか、なぜ中学生の非行発生率は他の世代より高いのか、自閉症スペクトラム障害などのコミュニケーションに困難を抱える子どもたちをどのように支援していけばよいのか、などです。本コースでは、こうした教授・学習や人間発達のしくみ、ならびに発達過程における障害や支援ニーズに対して、心理学的観点から多面的・多角的にとらえ、そのメカニズムを明らかにすることで、その理論および実際の心理的支援や教育的支援を実証的手法により開発できる人材、ならびに心理専門職を養成する人材を育成します。

### Faculty Members

**神谷 哲司**

教授・発達心理学

**工藤 与志文**

教授・教授学習心理学

**長谷川 真里**

教授・発達心理学

**野口 和人**

教授・発達障害学

**佐藤 誠子**

准教授・教授学習心理学



# 臨床心理学コース

Clinical Psychology

## 心理専門職として広く社会に貢献できる人材を養成

子どもや成人をめぐる心理社会的問題を見ると、学校における不登校やいじめの問題、度重なる災害による問題、虐待やハラスメントなど家庭や組織での問題など様々な領域で、その深刻さを増しつつあります。本コースでは、様々な領域において心理的問題を擁する方々やその家族に対する援助についての新たな知見を見出す研究者を養成し、また、相談や援助の業務に従事する公認心理師や臨床心理士の受験資格を取得し、心理専門職として、広く社会に貢献できる人材を養成します。

### Faculty Members

**若島 孔文**

教授・臨床心理学  
・家族心理学

**安保 英勇**

准教授・臨床心理学  
・コミュニティ心理学

**本多 奈美**

准教授・臨床心理学  
・精神医学

**前田 駿太**

准教授・臨床心理学  
・生理心理学

**吉田 沙蘭**

准教授・臨床心理学  
・医療心理学

**梅田 亜友美**

助教・臨床心理学  
・認知心理学

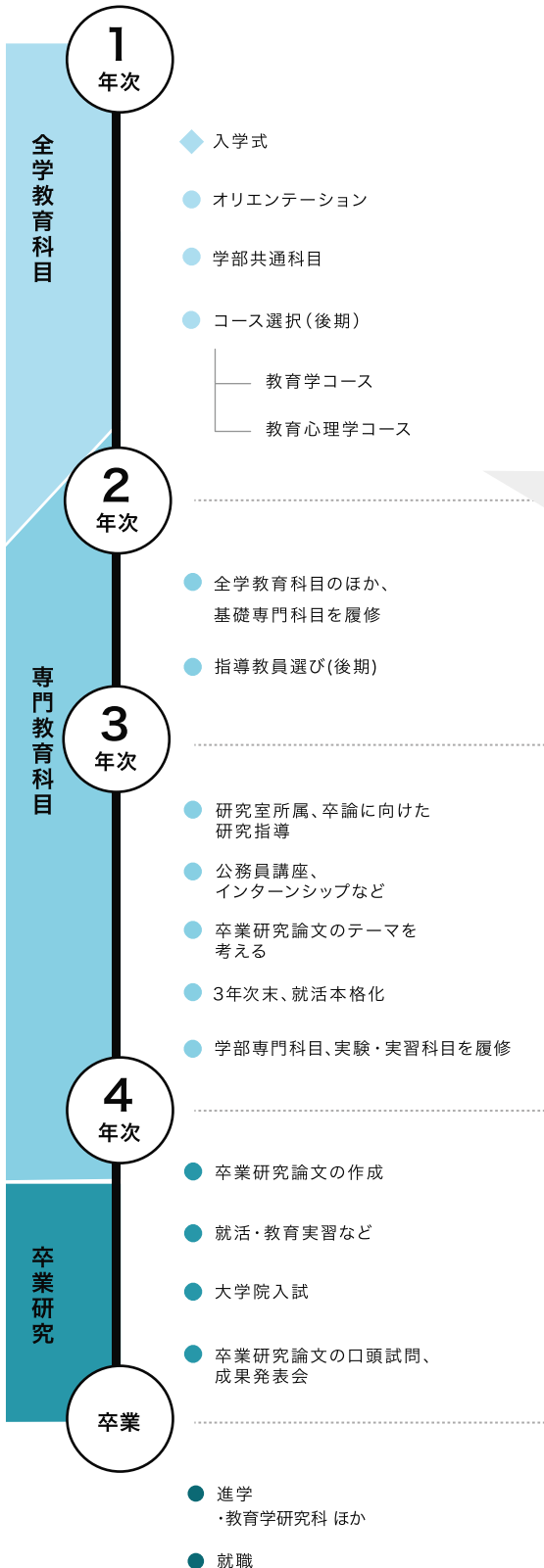
**シュレンベル レナ**

助教・臨床心理学  
・コミュニティ心理学





東北大学教育学部では、4年間を通じた、柔軟で一貫性のある教育プログラムを実施しています。1年次においては、全学教育科目を中心としながら、幅広い教養の形成を行います。2年次以降、専門科目の授業を受講していきます。その際、「教育学コース」と「教育心理学コース」のいずれかを選択することとなります。2年次の後期の間に指導教員を決定し、3年次から研究指導が開始されます。これらをふまえて、4年次には卒業研究を行います。



1年次後期 **コース選択**

## 教育学コース

Studies of Education

教育の思想・歴史・組織・制度や、教育の内容・方法・組織(学びのイノベーション含む)と社会諸制度との関わりなど、多面的な教育の諸現象について、教育学および教育に関連する諸学問の内容を学び、自ら課題を設定して研究に取り組みます。文献講読・フィールド調査・実験・社会調査などを行い、教育学の研究方法を修得します。そして、その成果を卒業研究としてまとめます。



## 教育心理学コース

Educational Psychology

教育や発達・適応に関する諸現象について、人間行動・心理的状态に関わる側面から、心理学的な概念や理論を学び、教育や発達・適応上の諸問題を解明するために自ら課題を設定して研究に取り組みます。文献購読・行動観察・実験・質問紙調査などを行い、ICTリテラシーなどを学びます。そして、その成果を卒業研究としてまとめます。また公認心理師のためのカリキュラムも準備されています。





# 角 詠志

KADO EISHI

教育学部教育科学科  
教育学コース 4年  
広島県立安古市高等学校 出身

興味のある分野にきっと出会える。  
多様な研究テーマがある「教育」の  
世界に飛び込もう!

## 01 東北大学教育学部の魅力

本当にやりたい研究が見つかる充実の学習環境。

東北大学教育学部の魅力は3つあると感じます。ひとつは、1学年の人数が約75名と少数なこと。人間関係がしっかり築けるので勉強に向けて共に切磋琢磨する仲間ができます。次に、学習施設が充実していること。図書館の蔵書数も非常に豊富ですし、コンピュータ実習室には専門の解析ソフトがあり、研究に活用できます。最後に、幅広い研究分野に触れる機会があるのも魅力です。

私はもともと発達心理学に興味を持っていたのですが、心理学からのアプローチを学んだ上で、他の手法も知りたいと思うようになりました。文化人類学や行政学、社会学などさまざまな分野がある中で、今は情報系のアプローチに興味を持ち、「教育情報学」について学ぶゼミに所属しています。本当にやりたい研究にたどり着けたのは、教育学のジャンルの豊富さと東北大学の充実した学習環境のおかげです。

## 02 私の研究と将来の目標

教育学部生の進路にはたくさんの可能性がある。

私が所属しているゼミでは、基本的に自分が興味を持ったことに関する研究をすることができます。例えば、ChatGPTなどの最新AIを実際に使って感じたことや課題などを議論しています。あらゆることが研究のテーマになるため、低学年時に受講していた全学教育で幅広い分野を学んだことが役立っていると感じますね。東北大学での多様な経験を生かして、将来はICT教育のコンテンツやプラットフォーム開発などに携わりたいと考えています。

当学部生の進路は、民間企業に就職する人もいれば公務員、教員になる人、大学院に進学する人など、さまざまな可能性を秘めています。特に進学率に関しては、文系の中ではトップクラス。それだけ奥深い研究ができるのが教育学部です。今はまだ明確な目標がない人でも、きっと興味のある分野に出会えると思います。好奇心を胸に、教育学部の扉を叩いてみてください。





# 角さんのとある一日 Time Schedule



## 低学年(1・2年)

- 7:00 起床
- 8:50 1限目「英語」
- 10:30 2限目「教育学研究入門」
- 12:00 学食で昼食
- 13:00 図書館で課題の準備
- 15:00 オンデマンド授業の受講
- 18:00 塾講師のアルバイト
- 22:00 簡単な自炊で夕食・自由時間
- 24:00 就寝

全学教育では「西洋美術」や「法学」などの一般教養を学びます

入学以来オンライン授業が多かったです。が何度も見返して復習できるメリットを感じています

## 高学年(3・4年)

- 7:00 起床
- 8:00 1限目がないときは朝食をしっかりと食べてから出発
- 10:30 ゼミ「教育情報デザイン論」
- 12:00 学食で昼食
- 13:00 「教育学実習」の課題
- 18:00 ジムで運動したりサークル活動に参加したりします
- 21:00 夕食・自由時間
- 23:00 就職活動の情報収集や提出書類の準備
- 24:00 就寝

コンピュータ実習室の分析ソフトを使ってデータの分析をします

カメラサークルでは街中にスナップ写真を撮りに出かけます！





## 図書室

### Library

研究棟6階に位置する教育学部の図書室は、フロアの半分ほどを占める広さを有しており、専門スタッフ2名が配置されています。

閲覧用の大きなテーブルと椅子、キャレル(個人学習用の閲覧ブース)、コピー機、図書検索用のパソコンなどが備えられています。教育関連の専門書、雑誌、大学紀要など1万冊近くの蔵書が、開架式の書棚と12連の電動集密書架に所蔵されており、学生や教職員の教育・研究に大きな役割を果たしています。



## コンピュータ実習室

### Computer Room

コンピュータ実習室には、コンピュータ30台とプリンタ3台が設置されていて、各コンピュータにはワープロや表計算などの基本的なソフトをはじめ、4種類のデータ解析ソフトがインストールされています。室内にはソフトの使用方法やデータ解析を学ぶためのテキストも備え付けられていて、授業や講習会などに利用されるとともに、学生が研究や学習をすすめるために活用しています。

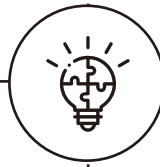


## 実験室

### Laboratory

学習(人間が学び理解するメカニズム)に関する各種実験、認知(種々の感覚に基づく人間の情報処理)に関する各種実験、脳波等の生理心理学検査と聴力測定、各種の個別心理検査、集団間の相互作用の様子についての行動観察などを進めるための施設です。

また、これらの観察記録や分析のためのシステムも整っています。



## リフレッシュルーム

### Refresh Room

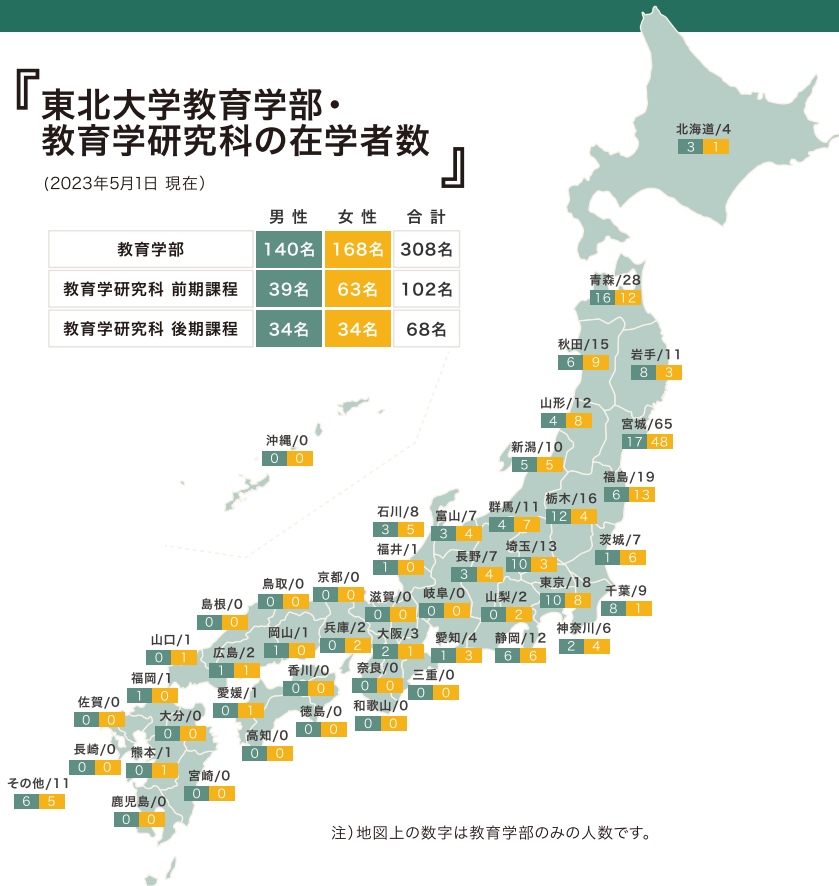
学生の自己学習を促す、本研究科独自の施設です。各フロアに1箇所ずつ設置され、学生の休息や語らいの場であるとともに、自主ゼミや研究会などに使える施設となっています。眺望の良い明るい部屋には、ソファコーナーのほかに、ミーティングテーブル、プレゼンテーション用の大型モニタ、ホワイトボードなどが設置され、学生はいつでも自由に使用できるようになっています。



## 『東北大学教育学部・教育学研究科の在学者数』

(2023年5月1日 現在)

	男性	女性	合計
教育学部	140名	168名	308名
教育学研究科 前期課程	39名	63名	102名
教育学研究科 後期課程	34名	34名	68名



注) 地図上の数字は教育学部のみ的人数です。

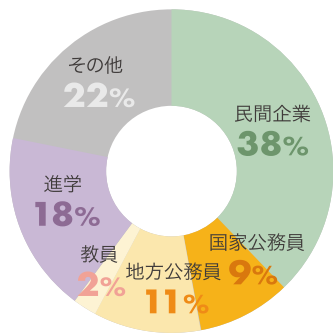
### 教育学部でとれる資格

- 教員免許状(一種)**  
中学校(社会)、高等学校(公民)  
※ただし他学部の授業との組み合わせで他の教科の免許状を取得することができる
- 社会教育主事**  
※任用資格、社会教育士(称号)
- 学芸員**  
※文学部の科目を履修する必要あり
- 公認心理師**  
※一部、文学部の科目を履修する必要あり  
※ただし「受験資格を得る」だけで試験を受ける必要がある

### 教育学研究科でとれる受験資格

- 公認心理師**
- 臨床心理士**
- 臨床発達心理士**  
※ただし「受験資格を得る」だけで試験を受ける必要がある

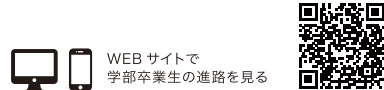
## 学部卒業生の進路



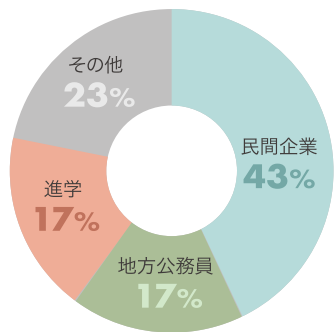
**企業(約38%)**  
JX金属株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社日立ソリューションズ、株式会社リクルート、住友精化株式会社、楽天グループ株式会社、東北電力株式会社、北陸電力株式会社、JFEスチール株式会社、東北放送株式会社、住友生命保険相互会社、日本ガイシ株式会社、学校法人東北学院、株式会社公文教育研究会

**公務員・教員(約21%)**  
国土交通省、防衛省、家庭裁判所、東北財務局、栃木労働局仙台市役所、埼玉県庁、墨田区役所、弘前市役所、山形市役所、富谷市役所、南魚沼市役所、高等学校(神奈川県)

**大学院進学(約18%)**  
東北大学大学院教育学研究科、宮城教育大学大学院教育学研究科



## 大学院(修士/博士) 修了生の進路

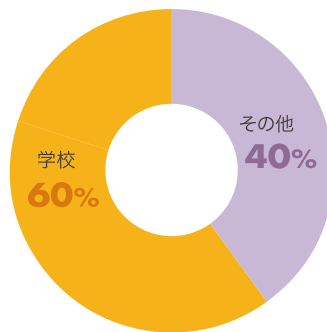


大学院(修士) 修了生

**企業(約49%)**  
株式会社NTTデータ先端技術、富士通株式会社、パナソニックエンターテインメント・コミュニケーション株式会社、ソニーインタラクティブ・エンタテインメント株式会社、朝日生命相互保険会社、ソフトバンク株式会社

**公務員(約17%)**  
東京都庁、宮城県庁(教員含む)、仙台市役所、新潟市役所

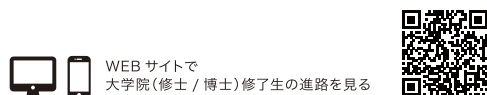
**大学院進学(約8%)**  
東北大学大学院教育学研究科



大学院(博士) 修了生

**学校(約60%)**  
福島県立医科大学、神戸女学院大学、山形大学、東北大学

**その他(約40%)**  
ポストドクター / 日本学術振興会特別研究員(PD)







研究科における心理学の基礎的研究や臨床研究の成果を地域社会に還元し、個人、家族、地域あるいは災害被災者に対する相談援助を行うとともに、公認心理師・臨床心理士養成のための実践的教育訓練を行うことを目的としています。センターには、臨床心理相談室、災害心理支援室、発達・学習心理相談室が置かれており、2020年度末に終了した震災子ども支援室“S-チル”の事業内容を、緊急支援・被災者支援・震災・防災心理教育として災害心理支援室で継続しています。また、既存の臨床心理相談室の支援体制を発展させ、さらに多様な専門性(発達・学習相談、遠隔支援など)を総合的に活用できる支援体制を構築しました。

## STAFF スタッフ

**若島 孔文** センター長・災害心理支援室室長・教授  
**長谷川 真里** 副センター長・発達・学習心理相談室室長・教授  
**安保 英勇** 臨床心理相談室室長・准教授



## 臨床心理相談室

Clinical Psychology Counseling Office

子どもの不登校やいじめ問題をはじめ、職場や生活でのストレスや葛藤を持つ人々やその家族に対して、心理査定を含めた臨床心理面接を実施し、地域社会に貢献するとともに、臨床心理士(臨床心理士養成指定大学院1種)および公認心理師を養成するための内部実習機関です。構成員は、臨床心理学コース教員および大学院生を中心としています。

## STAFF スタッフ

**安保 英勇** 室長・准教授  
**前田 駿太** 副室長・准教授  
**若島 孔文** 教授  
**本多 奈美** 准教授  
**吉田 沙蘭** 准教授  
**梅田 亜友美** 助教  
**シュレンベル レナ** 助教

## 発達・学習心理相談室

Learning Psychology Counseling Office

発達の問題や気がかり、学習のつまずきなど、乳幼児期から青年期に至るまでの子どもとその保護者への対応の仕方に苦慮する教育・福祉等諸領域の専門家に対して、より専門的なコンサルテーションを実施し、子どもとその保護者に対して求められる発達・学習支援を行います。構成員は、教育心理学コース教員中心としています。

## STAFF スタッフ

**長谷川 真里** 室長・教授  
**神谷 哲司** 教授  
**工藤 与志文** 教授  
**野口 和人** 教授  
**佐藤 誠子** 准教授

## 災害心理支援室

Disaster Psychology Support Office

震災子ども支援室から資料および連携機関を引き継ぎ、(1)災害遺族支援・災害里親支援、(2)緊急支援・被災者支援、(3)災害心理教育を行っていきます。また、災害地域が僻地の場合、遠隔での支援体制を整え、遠隔支援システムを導入します。構成員は、教育学研究科の教員を中心としています。

## STAFF スタッフ

**若島 孔文** 室長・教授  
**青木 栄一** 教授  
**李 仁子** 准教授

## 遠隔支援チーム

Remote support team

引きこもり者、介護者家族、遠隔地在住者等遠隔で支援を求める方への幅広いご相談に応じています。







先端教育研究実践センターは、社会的に重要な教育課題について、より機動的に対応するとともに、プロジェクト等への参加を通して学生が研究力・実践力を高めることのできる組織です。「重点研究プロジェクト部門」「地域教育支援部門」「研究・教育支援部門」「国際交流支援室」の各組織が研究や教育をめぐる取り組みを進めています。

STAFF スタッフ

小嶋 秀樹	センター長・教授	安保 英勇	副センター長・准教授
劉 靖	センター員・准教授	尹 得霞	センター員・助教
閔 琬新	センター員・助教	大河 雄一	センター員・助教
ダグワドルジ アディアニヤム	センター員・助教		
内藤 隆史	センター員・助教		



国際シンポジウム・提携校

International Symposium・Affiliated School



国際シンポジウム・提携校について  
詳しくはこちら

グローバルな研究活動を行う東北大学は、海外の著名大学の研究者との共同研究交流を重視しています。そのような交流を推進するために、東北大学は、2023年5月現在で世界245大学や機関と大学レベルでの交流協定を締結しており、さらに東北大学の単数もしくは複数の部局（研究科や研究所）が独自に479か所の海外の大学や機関と部局間協定を結んでいます。教育学部（教育学研究科）については、以下の19の大学・機関と部局間協定を結び、活発な研究交流や学生の相互派遣を行っています。



大学・機関と部局間協定先一覧

- ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション
- 明知大学校社会教育大学院
- ヨーク大学教育学部
- 国立台東大学師範学院
- 又松(ウソン)大学校保健福祉学部
- 南京師範大学教育科学学院
- 国立台湾師範大学教育学院
- 高麗大学校師範大学
- 国立政治大学教育学院
- 杭州師範大学教育科学学院
- 北京師範大学教育学部
- 南京師範大学心理学院
- 華東師範大学教育学部
- 華東師範大学心理与認知科学学院
- ソウル国立大学校師範大学
- 東北師範大学教育学部
- 国立インドネシア教育大学教育学部・大学院研究科
- UNESCO パンコク事務所
- 天津大学教育学部

AEL COURSE



AEL COURSE について  
詳しくはこちら



AELは「Asia Education Leader」の略で、アジア、特に東アジアにおける教育課題に対応できる国際的視野をもった指導的人材の育成を目指す国際共同教育プログラムです。





## 各種奨学金制度

経済的な応援が心と暮らしをいきいきと豊かにします。

### ■ 奨学金制度

優秀な学生のために、日本学生支援機構による奨学金（第一種・無利子、第二種・有利子）の貸与があるほか、令和2年度からは修学支援新制度により学部学生を対象とした給付型奨学金が始まりました。

その他、地方公共団体・民間奨学金団体による奨学金の貸与や給付の制度があります。経済面のしっかりした支援体制で、研究者養成を助けます。どの奨学金も学業成績の優秀な学生、そして経済的理由で修学困難な学生に資格が与えられます。学生生活を円滑に送るため、大切なライフプランニングに役立てることができます。

### ■ 授業料免除制度

経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、その他、突発的災害等やむを得ない事情があると認められた場合には、授業料の全額、3分の2の額、半額又は3分の1の額を免除する制度があります。

## 日本学術振興会特別研究員制度

創造性豊かな研究者養成のために研究奨励金を支給します。

大学院博士課程在学者及び修了者などで優れた研究能力を備え、大学その他の研究機関で研究することを希望する研究者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度です。

特別研究員になると、主体的に研究課題や研究の場などを選びながら、研究に専念する機会を持つことができます。わが国の学術研究の将来を担う、創造性に富む研究者の養成を目的としています。

## 東北大学学際高等研究教育院制度

新領域を創造する若手研究者を支援します。

東北大学学際高等研究教育院とは、既存の研究科・教育部の枠にとらわれず、新しいタイプの異分野融合からなる新領域の学際的研究を創造し、世界トップレベルの研究者を目指す若手研究者養成のための、東北大学独自の支援組織です。奨学金支給、論文投稿諸費用や学会、国際会議出席費用等の各種支援を受けられるほか、研究計画に見合った研究費や研究環境又は国際インターンシップのための助成、ポストクの雇用等の支援事業を行っています。

また、教育学研究科に所属しながら「修士研究教育院生」「博士研究教育院生」に採用されることで、奨学金や研究費の助成が受けられます。

## TA・RA制度

未来の教育指導者、若手研究者をしっかりとサポートします。

### ■ TA(ティーチング・アシスタント)

TA制度は、教育学部・博士課程前期2年の課程の授業をアシストするシステムです。成績優秀な大学院生が担当し、手当(時間給)が支給されます。学生を教育指導できる実践トレーニングの経験としてのメリットに加え、この体験は現実世界と理論とを融合させる格好の機会にもなります。

### ■ RA(リサーチ・アシスタント)

RA制度は、博士課程の大学院生が研究科の研究プロジェクトに参画し、研究に必要な補助を行うシステムです。資格は博士後期3年の課程に在籍する優秀な学生に与えられ、手当(時間給)が支給されます。教員とマンツーマンで、研究の進め方や理論構築のノウハウなどを吸収できます。大学側の研究支援体制を強化するとともに、若手研究者の養成をサポートする充実した内容となっています。

## 博士研究員制度

就職前のポストクの研究環境を保障します。

博士研究員は、教育学研究科又は教育情報学教育部の博士課程3年の課程を修了した者を対象に研究者としての地位を保障する制度です。博士研究員は、授業料を払わずに本学の施設・設備の使用、指導教員による指導を受けることができ、さらに本学の研究者としてさまざまな研究費に独自に応募することができます。

## 長期履修制度

個々の事情にもとづいた修業年限の設定が可能です。

長期履修制度は、職業に従事している等の個人的事情により修学に専念できない大学院生を対象に、標準修業年限(前期課程2年・後期課程3年)を超えて在学することを認めるシステムです。授業料も標準修業年限分の納入額のみとなります。この制度は、より多くの人びとに大学院教育の機会を提供することがねらいです。





## 教育学研究科



博士論文・修士論文について詳しくはこちら



### 令和4年度 博士論文

- いじりに関する臨床心理学的研究 ―いじりのリスクファクターと被行為者への影響の検討―
- ジョン・デューイの人間形成論 ―習慣論の考察を通して―
- 生活保護ケースワーカーのストレスと対処戦略に関する研究
- Japanese Sentiment Toward Foreign Workers in a New Age of Immigration:A Case Study of the Seafood Processing Industry in RuralJapan
- 形式的アセスメントの社会文化的構成に関する理論的および実証的研究
- 大学進学における進路決定プロセスに関する日中比較研究
- 緩和ケアに従事する看護師の心理特性に関する臨床心理学的研究 ―死のとらえ方と時間的展望の観点から―
- うつ病の診断名を持つ相談者に対する被相談者の責任帰属過程およびコミュニケーションに関する研究
- 「空気を読めない他者」に対する攻撃行動の発生に関する心理学的研究
- 形式的アセスメントの実践におけるクライテリアの研究

### 令和4年度 修士論文(抜粋)

- 中国帰国者のメモリアルに関する研究
- 親の教育費負担に関する実証的研究 ―子育ての目的に基づく学業・塾・習い事の位置づけの差異に着目して―
- チューター活動における国内学生の異文化間能力変容に関する事例研究
- 人工内耳装用児支援のための連携に関する質的研究 ―人工内耳装用児の家族の語りから―
- 教科指導における中学校教員のICT活用指導力向上のための尺度開発と特徴分析
- 筋ジストロフィー児童・生徒の心理社会的課題に関する研究 ―就学状況の変化の実態及びその要因に着目して―
- ヤングケアラーにおける家族機能と精神的健康に関する研究 ―ベネフィットファインディングに着目して―
- 小児外科疾患の子をもつ母親の子育てにおける心理的体験 ―学童期までの患児との関わりに着目した質的研究―
- 認知症の進行が認知症家族介護者にもたらす影響に関する研究 ―介護者の抱える問題とその対処に着目して―
- 運動習慣が怒りに対する対処方略に影響を及ぼすプロセス

## 教育学部



卒業研究について詳しくはこちら



### 令和4年度 卒業研究(抜粋)

- 旧制私立七年制高等学校における部活動の位置づけ
- 気候正義をめぐる運動と学習 ―きらきら発電と仙台パワーステーション差止請求訴訟に注目して―
- 文章構造グラフを用いた国語記述式答案への自動フィードバック生成
- 浪人がもたらす大学の課外活動への影響
- 走幅跳の助走時における視線行動について ―初心者に対する競技力向上を目指す指導方法について考える―
- 教員年齢構成の教員育成指標策定に対する影響
- 一時的居場所の意義の再検討 ―kurutoながまちの事例から―
- 子どもの学力の規定要因としての社会関係資本 ―家庭の経済的・文化的要因に左右されない学力達成要因は存在するのか―
- 現代の「看取り文化」についての研究 ―看取りへの家族の参与に着目して―
- 食育と昆虫食
- 大学生の就職活動における父親・母親とのかかわりとキャリア意識の関連についての検討
- 大学生における所属集団への態度とアイデンティティの関連 ―組織コミットメントに着目して―
- 特別な支援を必要とする子どもとプールでの活動を行う大学生ボランティアの活動継続を支えた背景要因の検討
- 大学生のLINEの既読をめぐる葛藤場面における心理 ―先延ばしの観点から―
- 親からの期待が大学生の強迫傾向に与える影響
- アバターデザインの自由度がVR空間での会話満足度に与える影響
- 高校生の古文読解における未知語への対処方略及び意味推測の成否と内容理解の関連について
- 大学受験期におけるHSPの心理的及び身体的健康に関する研究
- US Hip-Hop歌詞の計量文献学的分析 ―スラング表現に着目して―
- 大学生のストレスコーピングが反芻や抑うつに及ぼす影響



# 東北大学教育学部Q&A

**Q1** 東北大学の教育学部と他の大学の教員養成学部とは、どこが違うのですか？

**A1** 国立大学の教育学部には2種類あって、教員養成を目的とした教育学部と、教育学や心理学の研究・教育を目的とした教育学部があります。東北大学の教育学部は後者のほうです。

**Q2** それでは、東北大学の教育学部では教員になれるのですか？

**A2** 中学校の社会、高等学校の公民の免許状が取れます。  
その他にも、他学部の授業を履修することで、国語や英語、数学、理科の免許状も取得できます。

**Q3** 教育学部に行けばカウンセラーになれるのですか？

**A3** カウンセラーといっても様々な資格がありますが、教育学部/教育学研究科では「公認心理師」や「臨床心理士」に対応したカリキュラムを提供しています。  
公認心理師の受験資格を得るためには、教育学部および文学部で開講される必修科目を履修し、卒業後に臨床心理学コースの修士課程を修了するか、認可を受けた施設で2年間の実務経験を積むことが必要です。また臨床心理士の受験資格を得るためには、臨床心理学コースの修士課程を修了することが必要です。いずれの場合も、教育学部で関連分野について幅広く学んだ上で、大学院や実務研修機関でさらに専門的な学びを深めることになります。

**Q4** 教育学部で学ぶ心理学と、文学部で学ぶ心理学では、どこが違うのですか？

**A4** 文学部では実験心理学や社会心理学の基礎的問題の解明に取り組んでいます。具体的には「視覚認知心理学」「感情心理」「ストレス、化粧、顔、香りに関する心理学」「地域社会における資源交換」「異文化体験」などが研究されています。  
一方、教育学部では、広い意味での「教育」、すなわち、人と人のかかわりに関する心理学が中心です。具体的には、教える、学ぶ、発達する、支援するといった行動やその心理学的実践をテーマとしています。主だった心理学の領域としては、「教育心理学」「学習心理学」「発達心理学」「障害児者心理学」「臨床心理学」などが学べます。

**Q5** 東北大学の教育学部を卒業すると、何になれるのですか？

**A5** もちろん教員を目指す人もたくさんいますが、それ以外に企業や教育行政、矯正施設や福祉施設の中で自分の学んだ教育学・心理学を生かす人も大勢います。さらに、東北大学教育学部は、数少ない「大学院大学」の教育学部ですから、さらに高度な専門的能力を身につけるために大学院に進学する人も多くいます。



東北大学教育学部Q&Aについて  
詳しくはこちら



東北大学  
大学院教育学研究科・教育学部

Graduate School of Education / Faculty of Education

〒980-8576 仙台市青葉区川内27番1号

TEL | 022(795)6105

URL | <https://www.sed.tohoku.ac.jp/>